

# 5 洪水(浸水)災害②

## 洪水ハザード情報について

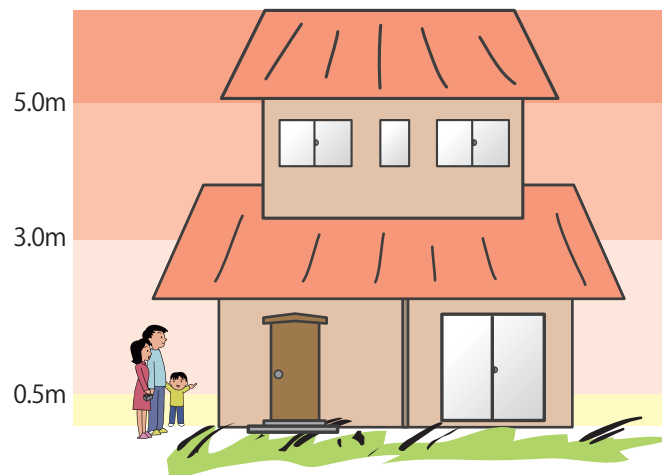
- 「洪水・土砂災害防災マップP9～P30」に表示している浸水想定は、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示したハザード情報です。
- この浸水想定区域などは、指定時点の河道の整備状況を勘案して、氾濫した場合の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- このマップをご使用の際は、支川の氾濫、想定を超える降雨等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合がありますので十分注意しましょう。

## 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の指定

対象となる水位周知区間	指定の前提となる降雨	指定者	指定年月日
(奥入瀬川水系) 奥入瀬川	流域の12時間の総雨量 303mm	青森県県土整備部 河川砂防課	平成31年1月23日

### 浸水ランクの目安

5.0m 以上の区域	2階の屋根まで浸水する程度
3.0～5.0m 未満の区域	2階が浸水する程度
0.5～3.0m 未満の区域	1階が浸水する程度
0.5m 未満の区域	大人の膝までつかる程度



※浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」によります

## 避難行動のポイントと危険箇所

### 浸水が始まる前に早めの避難

氾濫水は流れが早く、大人の膝程度の深さでも歩行が困難になります。浸水してからの避難は危険。気象情報や河川洪水予報などの情報をもとに、身の危険を感じたら自主的に避難を始めましょう。



### やむなく水の中を歩く際は

素足、サンダル、長靴は厳禁。水中で脱げづらい紐靴などを履きましょう。また、氾濫水は濁っていて水中が見えないため、長い棒や傘などを杖代わりにして、マンホールや障害物に注意しながら歩きましょう。



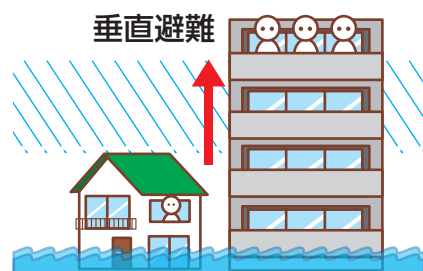
### 川や用水路には近づかない

注意報・警報の発表中は、川や用水路などの水辺には近づかない。河川状況などは、青森県のライブカメラなどで確認できます。また、避難の途中も増水した川の近くを通るのは避けるようにしましょう。



### 状況に応じた避難を

周囲の状況が危険で避難場所まで行けない場合は、自宅の安全な高い階に避難しましょう。また、避難している途中で、危険を感じたら近くの頑丈な建物の出来るだけ高い階に緊急避難しましょう。



### 地下室や地下は危険

地下にいと地上の状況が把握しずらく、避難経路が限定されます。また、地上が冠水すると一気に水が流れ込んでくる場合があります。停電になる可能性も高く、脱出が困難になります。

